



Bouquet

ニュースレター [ブーケ]

vol.
12
2017.7

Special Issue

次のステージに向けて チャレンジを!

- 02 プログラム責任者からのメッセージ
学びをキャリアにつなげる
- 03 イベント開催報告
「企業における女性博士人材への期待」国際シンポジウム
- 04 New students
- 06 グローバル理工学副専攻 平成29年度開講!
- 07 Activity 「セルフプロデュース」「キャリアデザイン」を考える
キャリア支援活動を充実させています



次のステージに向けて チャレンジを！

プログラム責任者からのメッセージ——学びをキャリアにつなげる

着任のご挨拶

理事・副学長（研究・イノベーション担当）
お茶の水大学博士課程教育リーディングプログラム責任者

森田 育男 Ikuo Morita

2017年4月からお茶の水女子大学の理事・副学長（研究・イノベーション担当）に着任し、あわせて、学長の要請もあり、本学の博士課程教育リーディングプログラムのプログラム責任者となりました。

本学着任前は、東京医科歯科大学において、2009年からこの3月まで副学長・研究担当理事、2011年からは研究・産学連携推進機構長及び研究推進本部長も併任しておりました。本プログラムの目指すところは「企業で即戦力となる理工系の女性グローバルリーダーの育成」ですが、これまで多くの産業界の方々と一緒に仕事をする機会も多く、また、多くの教育プロジェクトの運営にも携わっており、その際の経験などを生かしつつ、本プログラムの発展に向け尽力したいと思っています。

本学のリーディングプログラムは、2013年度に文部科学省の採択を受けキックオフしましたが、本年3月の中間評価において、「計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる」とされ、一般的に言われるA評価をいただいたところです。7年間のプログラムも残すところ3年を切りましたが、再度気を引き締めて努力していくことが、まずは重要であると考えています。

その中で、特に、2つの課題を中心に取り組んでいく予定です。

第1に、履修生が産官学のリーダーとして社会に旅立ってよう、特に産業界との連携の強化を図ってまいります。具体的には、インターンシップ（グローバル研修）などでの協力も含めた産業界と履修生との交流機会の増加、また、キャリア支援活動の充実なども進めてまいります。

第2に、本プログラムを、文部科学省の予算面での支援終了後も、本学の基盤活動として根付かせていくための道筋をつけることも重要な課題です。中でも、本プログラムの中核をなす PBTS (Project Based Team Study) は、異なる専攻に属する学生達がチームで自主課題を設定し研究に取り組んでいますが、これは今後ますます「イノベーション・エコシステム」が活発となっていく社会の要請に合致したものと考えています。このような取り組みを、より発展させ学内に定着させることも主要な課題の一つと考えています。

最後になりますが、産官学の様々な領域の方々からのこれまでの本プログラムへのご協力に感謝申し上げます。そして、2018年4月には最初の履修生が本プログラムを修了し社会に飛び立つ予定ですので、多くの方々より一層のご支援とご協力をお願いして着任の挨拶とさせていただきます。



大学院人間文化創成科学研究科理学専攻・教授
リーディング大学院推進センター長

吉田 裕亮 Hiroaki Yoshida

2016年1月からリーディング大学院推進センター長をつとめております。

本プログラムも、この4月に4期生を迎え、履修生も30名を超えました。その中には、社会人経験者、留学生など多様な経歴をもつ学生達もおりますが、それぞれの個性に応じ、そして個々のキャリアに関する希望も踏まえながら、オーダーメイドに成長を促し、当センターとしてその成長を支えていきたいと思っています。

本プログラムは、本学が従来から継続して取り組んでいる「リベラルアーツ教育」、「グローバル教育」、「リーダーシップ教育」のエッセンスを継承しつつ、英語を基本とした副専攻プログラムを創設した新たなチャレンジの場でもあります。このチャレンジを成功させるべく、プログラム責任者の森田先生、学内外のプログラム担当者のみならず、またグローバルな教育を支える外国人教員と一体となり、理工系グローバルリーダーとなる女性博士人材に社会に輩出する決意です。



「企業における女性博士人材への期待」 国際シンポジウムを開催しました

イベント開催報告

2017.3.7

Event Report



2017年3月7日、プログラム開始以来2度目となる大規模な公開シンポジウムには産・官・学の各領域から約170名の方々にご来場いただきました。産業界をはじめとする社会のニーズに応えられる新しい理工系博士人材の育成を目指し日々活動を行っている履修生に対しまして、温かいメッセージをたくさん頂戴いたしました。

第一線で活躍されている企業の皆さまからは、基調講演とパネルディスカッションを通じ、新しい変化が生じる時代に企業で活躍できる博士人材についてご意見を頂戴いたしました。また、大学からは、プログラムコーディネーターからプログラムの成果の一端を紹介するとともに、履修生全員によるポスターセッション及び代表の履修生によるショートトークやパネルディスカッションを通じ、プログラム活動の礎でも

ある異分野の学生による研究 PBTS (Project Based Team Study) やグローバル研修 (インターンシップ) で培ってきた各自の成果報告を実施しました。

さらに、シンポジウムの後は、情報交換会を行い、履修生と参加者の方々が、和やかな雰囲気ですらに交流を重ね懇親を深めました。

今回のシンポジウムのアンケートによれば、約60%の方から「女性博士人材への印象は変わった」、約98%の方から「お茶の水女子大学のリーディングプログラムについて理解できた」との回答をいただいたところです。また、シンポジウム後も参加いただいた方からご連絡をいただくなどの効果もございました。本プログラムでは、今後も様々な形で活動の成果を発信したいと考えています。



【来賓挨拶】 文部科学省高等教育局大学振興課
大学改革推進室長 井上 睦子氏



【基調講演】 日本アイ・ビー・エム株式会社
取締役常務執行役員 セイン・ズボン・リン氏



【基調講演】 株式会社コーセー 取締役
(品質保証部・商品デザイン部担当) 荒金 久美氏



【開催挨拶】 お茶の水女子大学長 室伏 きみ子



【プログラム紹介】 プログラムコーディネーター 古川 はづき



【パネルディスカッション：ファシリテーター】 日刊工業新聞社 論説委員兼
編集委員 山本 佳世子氏



今年度も新たに9名の履修生を迎え、
多様で新しい視点からのP BTSもスタートします!



New Student

眞鍋 優佳 Yuuka Manabe



理学専攻
化学・生物化学コース

- ▶ 出身/東京都
- ▶ 趣味/打楽器の演奏

主専攻の研究テーマ

ホスフィン配位子をもつルテニウム錯体と内部アルキンの反応における構造と反応機構の解析を行っています。

プログラムでやりたい事・将来像

本プログラムを通して、英語でのコミュニケーション力やチームで研究を推進するスキルを身につけ、社会で活躍できるよう力を養いたいと考えています。

New Student

織田 睦 Mutsumi Oda



ライフサイエンス専攻
生命科学コース

- ▶ 出身/東京都
- ▶ 趣味/ミュージカル映画鑑賞、音楽を聴くこと

主専攻の研究テーマ

キイロショウジョウバエの近縁種オナジショウジョウバエ日本集団における転移因子P因子の侵入状況調査。

プログラムでやりたい事・将来像

本プログラムを通じて様々な分野の方と交流し、新たな視点から物事を考察できる思考を身に付け、また英語を用いて自分の意見を伝えることができるようになりたいです。

New Student

小池 友理 Yuri Koike



理学専攻
化学・生物化学コース

- ▶ 出身/神奈川県
- ▶ 趣味/海外ドラマの鑑賞

主専攻の研究テーマ

空気中の臭い物質を除去するための吸着剤について、そのメカニズムを計算化学で研究しています。

プログラムでやりたい事・将来像

さまざまな分野の方との関わりを通して、幅広い知識とコミュニケーション能力を兼ね備えた人間になりたいと思っています。

New Student

三木 春佳 Haruka Miki



理学専攻
化学・生物化学コース

- ▶ 出身/埼玉県
- ▶ 趣味/手芸

主専攻の研究テーマ

イリジウムを含む有機金属錯体についてコンピュータを使って理論的に研究を行っています。

プログラムでやりたい事・将来像

授業や発表が基本的に英語で行われるので、リスニングやスピーキングのスキルを向上させていきたいと思っています。将来は様々な立場の人と協力して物事にあたっていききたいです。

New Student

任 点 Dian Ren



ライフサイエンス専攻
人間・環境科学コース

- ▶ 出身/中国 遼寧省
- ▶ 趣味/旅行

主専攻の研究テーマ

無線足圧計測デバイスを用いて日常生活における各行動の足圧特徴をデータ化し、機械学習で分類することに取り組んでいます。

プログラムでやりたい事・将来像

社会全体の問題を解決するようなハイレベルな人材になりたいと考えており、専門的技術に基づき、それを様々な専門分野に展開しつつ、常に全体を俯瞰したいと思っています。未来のグローバルな様々な問題に対し、それらを解決するための、思考力、判断力など、効果的な対応力を身につけることを望んでおります。

New Student

中山 祐里 Yuri Nakayama



ライフサイエンス専攻
人間・環境科学コース

- ▶ 出身/広島県
- ▶ 趣味/博物館巡り

主専攻の研究テーマ

認知症高齢者支援のため、認知機能検査結果から認知機能レベルに分類するプログラムについて研究しています。

プログラムでやりたい事・将来像

福祉工学や人間工学を専門としているため、人や人の生活に関わるテーマを扱いたいと考えています。異なる分野、異なる言語の人々と関わることで、柔軟な思考を持ちつつ深い専門性を持つ理系人材となり、特に福祉分野において社会に貢献したいと思っています。

New Student

松永 玲香 Reika Matsunaga



理学専攻
数学コース

- ▶ 出身/埼玉県
- ▶ 趣味/剣道

主専攻の研究テーマ

関数解析と偏微分方程式です。現在は関数解析を学んでいて、定理や命題の証明を通して関数の性質を学習しています。

プログラムでやりたい事・将来像

やりたいことは、他の分野の人と協力して研究を進めることと英語力を向上させることです。将来は柔軟性と広い視野を持ちつつ、社会に役立つ研究ができる人間になりたいです。

New Student

Do Thi Thuy Quyen



ライフサイエンス専攻
人間・環境科学コース

- ▶ 出身/ベトナム ホーチミン市
- ▶ 趣味/旅行、ウクレレ

主専攻の研究テーマ

Recycling wastewater from washing machine for non - potable purposes such as toilet flushing and irrigation towards the sustainable water resource.

プログラムでやりたい事・将来像

I would like to enhance my leadership with the spirit of "Action realize the vision". In the future, I want to contribute to turn Ho Chi Minh city to an eco-smart city and inspire people to live in harmony with the environment.

New Student

Pham Thuy Linh



ライフサイエンス専攻
生命科学コース

- ▶ 出身/ベトナム ハノイ市
- ▶ 趣味/読書、マンガ

主専攻の研究テーマ

I'm interested with human health issues. Now, I'm researching the impact of some specific sections of the brain stem to hypertensive disease. The Program for Leading Graduate School opens opportunities to expand my knowledge about sciences and engineering.

プログラムでやりたい事・将来像

Moreover, one of the program's purposes is connecting different scientific fields to improve the negative effects in global issues. Being the program's student, I could learn new fields and enhance my skills as well as background when participated with other students in teamwork.

グローバル理工学副専攻 平成29年度開講!

理工系女性リーダーとして 世界へ羽ばたくために、様々な講義を

「グローバル理工学副専攻」では、平成29年度、以下の講義や実習を開講予定です（リーディング大学院推進センター企画実施分）。

履修生は、下記の科目や本専攻で必要とされる科目の他、「チーム力の強化」を目指す専門分野の異なる学生同士がチームを形成して自主的課題に取り組む「PBTS (Project Based Team Study)」や国内外産官学機関へ中長期研究室ローテーションである「グローバル研修」に取り組んでいます。



I. 基盤力強化科目

1. イノベーション創成科目

大学院レベルでの基礎的知識や応用的知識を、英語で身につけるための科目です<数学・物理・情報科学・化学・生命工学・工学>。履修生は、数学・物理・情報科学の科目の単位取得が必須となっています。

I: 大学院レベルでの「基礎」、II: 「応用」

講義名	講師名	開始時期
Essential Physics for Global Leaders I	Edward Thomas Foley	後期
Essential Mathematics for Global Leaders I	Xavier Dahan	前期
Essential Mathematics for Global Leaders II	Xavier Dahan	後期
Essential Computer Science for Global Leaders I	Khayrul Bashar	前期
Essential Computer Science for Global Leaders II	Khayrul Bashar	後期
Essential Chemistry for Global Leaders II	Gary James Richards	前期
Essential Bioinformatics for Global Leaders I	Sabine Gouraud	後期
Essential Engineering and Technology for Global Leaders I	Julien Tripette	後期
Essential Engineering and Technology for Global Leaders II	Julien Tripette	前期

※前期 (4月～)、後期 (10月～)

2. グローバル理工学特別実習

履修生は多分野の先端機器を使用でき、自身の専攻分野以外の機器に触れる経験ができる実習です。

講義名	実施時期
グローバル理工学特別実習Ⅰ<情報コース>	グローバル理工学特別実習Ⅳ<生物コース>
グローバル理工学特別実習Ⅱ<物理コース>	グローバル理工学特別実習Ⅴ<食品栄養コース>
グローバル理工学特別実習Ⅲ<化学コース>	グローバル理工学特別実習Ⅵ<人間環境コース>

II. グローバルリーダー力強化科目

1. 英語教育

理工系を意識したリーディング・ライティング・プレゼンテーション等の英語力向上を目指す科目です。

講義名	講師名	実施時期
サイエンスリーディング	Ghourabi Fadoua	9月
サイエンスライティング	Ghourabi Fadoua	後期集中を予定

2. 博士課程リベラルアーツ科目

専門以外の社会観や様々な考え方を学び、国際教養を身につけるための科目です。

講義名	講師名	開講時期
Essential History for Global Leaders	西浦 みどり	10月～2月
グローバル理工学特別講義Ⅲ (Peace Education)	Roxanna Yamamoto-Ravenor	4月～5月
グローバル理工学特別講義Ⅳ (Global Studies-フィールドワーカーが語るアジア・アフリカ・オセアニアの現在)	紺屋 あかり	6月～7月

3. MOT・社会科学系開講科目

企業のリーダーを目指す者の企業に関する実践的な知識を身につけるための科目です。

講義名	講師名	実施時期
グローバル理工学特別講義Ⅰ (技術を活用した企業経営戦略入門)	松下 達也	6月～7月
グローバル理工学特別講義Ⅴ (産業界ツアー①)	近藤 敏啓	9月
グローバル理工学特別講義Ⅵ (産業界ツアー②)	近藤 敏啓	1月又は3月

*この他にも「キャリア教育科目」「女性リーダー教育」「IT技術関連科目」等も実施（一部隔年実施）しています。

他大学リーディングプログラム生との合同ワークショップを継続実施中!

「セルフプロデュース」「キャリアデザイン」を考える

早稲田大学「リーディング理工学博士プログラム」「実体情報学博士プログラム」、慶應義塾大学「超成熟社会発展のサイエンス」、東京大学「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」の学生たちとともに、合同ワークショップの第3回目と第4回目を実施しました。他大学のプログラム生との継続的な意見交流の機会は、日々の研究室では得られない貴重な体験となっています。



【第3回】日時/2017年3月20日

第2回に引き続き、田上誠司先生 (Field Up 代表 / エグゼクティブコーチ) によるワークショップが行われました。今回は「セルフプロデュース」をテーマとした「人を惹きつける魅力的な自分になる!」をテーマに、単に自分のことを良く見せることではなく、自己を深く知り強みや魅力を



最大限活かすことについて考えました。同時に、周囲とのコミュニケーションの取り方、研究やプロジェクトを円滑に進めることができる方法などについて、学生同士での活発なディスカッションが展開されました。

【第4回】日時/2017年6月3日～4日

初めての試みとして、週末を利用した合宿形式で行われ、4月に入学したばかりの新生も多数参加しました。広島大学客員教授の大木博先生による「リーディング博士のキャリアデザイン」の講義の後、学生自らが考えたテーマでディスカッションと発表をグループ毎に行いました。グループワークや、また英語を使用しての話し合いが初めてで、最初は戸惑う学生もいましたが、全員で協力しながら見事な発表となりました。ワークショップの後はBBQなどの企画もあり、学生同士はもちろん、参加した教員やスタッフとも大いに交流を深め、和やかなうちに終了しました。

キャリア支援セミナーを定期的に開催中!

キャリア支援活動を充実させています

本プログラムも今年度から修了生をいよいよ社会に輩出いたします。そのため、履修生が自身のキャリアを構築するための支援を強化していきます。その一環として、履修生向けのキャリア支援セミナーを今後も定期的に開催する予定です。

第1回 (4月21日) は、深澤知憲先生により、理系の「博士の就職活動」に関するガイダンスを実施しました。ご自身の会社でも多くの博士人材を支援し、様々な企業の内情にも触れているため、採用側の視点で「博士」に何が期待され、どのような採用を行っているかを現場の情報を基に紹介されました。



履修生にとっては、就職活動スケジュールなどの基礎情報の把握にとどまらず、魅力的な博士人材となるためのキャリアデザインについて考えを深める機会となりました。

▶ 深澤 知憲 / 株式会社エマーゼンテックテクノロジーズ 代表取締役社長、お茶の水女子大学リーディング大学院推進センター 非常勤講師、早稲田大学博士キャリアセンター チーフコーディネーター (嘱託)



第2回 (6月23日) は、2人のゲストをお呼びして「女性博士としてのキャリア～これまでとこれから」をテーマに講演会を実施いたしました。お二方のご講演では、それぞれに異なる分野 (情報 / 生命科学) やご経験 (対話型ロボット開発 / 再生医療製品開発) など、キャリアパスに関する具体的な事例をご提示くださいました。

講演の後には、ゲストと履修生との交流の時間を設け、履修生個々の関心に沿った質問に対し、講師のご経験やご自身のお考えを



交えつつ様々な疑問に対して丁寧に答えていただきました。履修生にとっては、博士として企業で勤務する際の具体的なイメージを醸成する上でのよい機会となったようです。

▶ 講師 大西可奈子氏 (博士: 理学) 国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) (株式会社NTTドコモから出向) ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センター 専門研究員

▶ 講師 林和花氏 (博士: 生命科学) 株式会社リコー 未来技術研究所 バイオメディカル研究室 バイオファブ리케이션グループ 主幹研究員

【お茶の水女子大学 博士課程教育リーディングプログラム】
「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける
理工系グローバルリーダーの育成

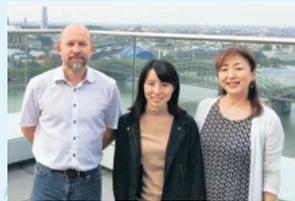
平成29年度10月期

グローバル理工学副専攻 履修生募集



奨励金の受給

平成32年3月までの奨励金受給が可能です。学振DCと同額が支給されるので、アルバイトに時間を割かずに、研究やインターンシップに集中できます。



国内外 インターンシップが実現

国内・海外の企業や大学をはじめとするインターンシップを実施します。海外研修の費用補助など生活面でのサポート体制も充実しています。



学内留学体験

外国人教員による授業や、SCがサポートするプロジェクトワークを実施。日々の活動を通じて、学内にいながら自然と英語力が身につきます。



本専攻との両立を サポート

単位認定制度（副専攻科目のうち最大10単位を主専攻修了単位として認定）や、修士論文の作成を免除するなど、履修生が無理なく本専攻と両立できるようなサポート体制を整えています。

平成29年度（10月期）
選抜試験日程

■ 申請期間／9月11日（月）～ 22日（金） 必着 ■ 選抜試験／9月27日（水）

■ 対象／本学大学院博士前期課程（ライフサイエンスまたは理学専攻）に
平成29年4月に入学した方、または平成29年10月入学予定の方

詳しくは
Webで!



平成29年度第1回実務推進会議を開催しました

2017年6月8日（木）

リーディングプログラムでは、学内外のプログラム担当者や履修生の所属する主専攻の先生方に定期的にご参集いただき、プログラムの活動に関する意見交換や情報交換のための「実務推進会議」を開催しています。

平成29年6月8日（木）の29年度第1回会議では、「28年度の実績と29年度の活動方針案」について、活発な意見交換がなされました。特に、ご多忙の中、ご参加いただいた産学を代表する学外のプログラム担当者の方々※からは、29年度のみならず中期的な視点から今後の活動に向けた様々な貴重なご意見を頂戴するこ

とができました。また、会議終了後にプログラム担当者間の交流のための自由懇談の場も設けました。本プログラムは、3月の中間評



価結果も踏まえ、今後の発展に向けた方向性を検討する予定ですが、その際、今回の会議で頂戴したご意見も反映していきたいと考えています。



※ ご出席いただいた学外のプログラム担当者（氏名と所属のみ、氏名の五十音順）
青山 美奈様（株式会社ブリヂストン）、永崎 洋様（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、岡田 安弘様（大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構）、小島 美代子様（株式会社日立ソリューションズ）、小林 洋子様（NTT コミュニケーションズ株式会社）、田村 義保様（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構）、沼田 祈史様（日本アイ・ビー・エム株式会社）、山本 義之様（パナソニック株式会社）

ニューズレター「ブーケ」
Bouquet vol.12
2017.7

国立大学法人 お茶の水女子大学
博士課程教育リーディングプログラム
「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける
理工系グローバルリーダーの育成

国立大学法人 お茶の水女子大学
リーディング大学院推進センター

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟601室

E-mail: leading-ocha@cc.ocha.ac.jp

TEL: 03-5978-5775

<http://leading.dc.ocha.ac.jp/leading/>

